



前回は1社でしたか。

(事務局 安達)

前回は1社です。

(遠藤委員)

書面審査と面接審査をしたいと思います。応募が現在運営している法人1社であって相対評価が難しいとは思いますが、面接審査をした方が良いかと思います。

(朝沼委員長)

採点をするにしても、評価はしないといけないと考えています。その最低基準を決めていなければなりません何かご意見はありませんか。

(遠藤委員)

資料に選定基準がありますが、通常、相対評価となりますが、応募者が1社であることから絶対評価となると思います。5点満点の項目で3点、10点満点の項目で6点と「普通」の評価ですと6割となります。6割を標準軸とした場合、55点になった場合、推薦するのにどうかと思います。絶対的な軸をどうするか、5点満点の項目では4点を標準点とするとか少し高く考えればどうかと思いました。10点満点の項目ですと8点くらいを標準にする方が良いと思います。

(朝沼委員長)

前回の選考会では80点を選定基準にすることで調整していましたが、得点が79点だったために説明した記憶があります。各人で何も無く考えますと5点満点の項目は3点、10点満点の項目で6点となると基準が60点となります。基準をどうするか、5点満点の項目は4点、10点満点の項目で8点にするとか、最低基準を何点にするかを議論していただければ良いと思いますが、委員会として推薦するからには60点ではどうかと思います。80点くらいで、75点を最低基準と考えるので良いのではないかと、どうでしょうか。

(中野委員)

管理運営経費では、10点満点ですが、9点ではいけないのでしょうか。

(朝沼委員長)

9点を付けることの選択肢はありますが、9点ですと7点、5点など得点にバラつきが大きくなるのではないかと危惧されます。

(高原委員)

指標の「非常に良い」「良い」「普通」が非常に曖昧だと思います。委員会として推薦するには、8割以上評点があった方が良いとは思いますが、目安として考えるのであれば、「普通」「良い」は感覚的なもので、かといって100点を採点すると完璧な提案となり、どうかと思います。5点満点だと4点を標準に考えることにするのか、「良い」というのが標準的として「普通」というのが「やや劣る」「やや劣っている」というのを「もう少し工夫が必要」とか、積極的な踏み込んだ表現にするのか、どう考えるかお聞きしたいと思います。

(朝沼委員長)

指定管理者が極めて悪ければ2点として評点としても仕方ないと思いますが、1社だけでの応募で、しかも現在、運営している法人で無難に事故もなく過ごしているのであれば「良い」ということになるのではないのでしょうか。6割を基準とすると「可」ということにはなりますが、1社だけの応募で、比較するものが無いだけに委員会として6割の評点で推薦するのはどうかと思います。せめて7割もしくは、8割の評点でないか推薦はどうかと思います。

(山本副委員長)

基本的には、前回の運営から問題なければ良いですし、改善するところがあれば改善すれば良いことですし、「0」スタートとして、もう1度作り直すというのであれば、それはそれで良いと思います。それから評価の仕方ですけど、我々がベスト、改善の余地が無い場合は、完璧であって、ぜひ御願いたい、つまり「Aプラス」。「A」評価ですとベストではないが改善点が明らかであると説明できる、改善できれば「Aプラス」になる。「B」を付けますと「A」よりも改善点が多々ある、悪くはないけれど改善点がある。そして問題が多いというのが「C」判定で検討が必要。「D」になりますと対象外、議会と話しとなると「B」以下だと説明が必要になります。委員の我々が点数を付けますが、これでいいですかという資料を事務局から提出していただく共同作業だと思います。判断は委員でおこないますが、説明責任は事務局でおこなう、委員として応募法人のことは全く知りませんし、応募文書の書き方で8点になるか6点になるか言えませんので、前年度の実績で良ければ踏襲すれば良いと思います。6割か8割を標準にするかは、どういうことか証明が必要であると思います。むしろ、事務局から参考意見を聞きたいと思います。

(青田部長)

前回の選定方法が良い悪いということではなく、どのようにおこなったかをお伝えしたいと思います。8割を基準とし評価をしましたが、結果的に若干少なかったのですが、事前に推薦に値する理由、こういう点を努力してほしいなど、そういう形の議論をしていただいてコメントを付記して推薦した経緯がございます。応募が1社でございますので副委員長がおっしゃることはよくわかります。

(事務局 安達課長)

応募された法人は、過去5年ほど和風園を運営していて、お配りしています評価表は「B」ですが、利用者等への対応は問題ないかと思います。また他のサービスとは違いまして、市で判定しました措置をした方に対するサービスと地域への貢献といいですか、社会資源としての貢献をみているのですが、他の施設と異なってはいますが、長年の実績から80点は付記してもよいのではないかと考えます。

(朝沼委員長)

副委員長の意見も理解できますが、選定委員会の性格として、市が評価をしたものを受け入れて判断するとなると市の意向に従って委員会で判断することになっても委員会の存在意義の問題もあると思います。

(山本副委員長)

事務局の意見をすべて聞くのではなく、評判はどうであるのか、ニーズ調査としての満足度調査は行っているのかを聞いているのであって、判断材料とするだけで鵜呑みする訳ではありません。私は、指定管理評価には「B」判定が多いと思いますが、資料を見る限り芳しくないような印象があるのですが、問題点はなかったですか。

(事務局 安達課長)

評価表の項目で当てはまるものと当てはまらないものがありますが、少し厳しい評価をしています。評価の指標がありませんので主観的な評価になっていて、実際「Bプラス」があれば、当然、そのようになります。「A」ということはしなかったということです。

(津村部長)

この評価表の付け方ですが、どのような目標や計画を持つかによりますが、設定した目標をクリアすれば「B」、それを上回るときは、どうするかというときに担当課長

としましては「A」や「S」という評価は評価表としては、付けにくいということです。

それから8割の問題は、できる限り良い法人を選びたいのですが、標準点を5点満点の項目で4点、10点満点の項目で8点にするとき、細分化したときに4点を3点、8点を6点にすることは容易かと思いますが、ここの評価にあるように「S」とすると、10点満点や5点満点を付記することは委員として難しいとすると、自ずと8割以下の採点となり、8割を下回ることになるだろうと危惧されるといった考えが1点と委員長が先ほどおっしゃったように、この評価で8割をとることが難しいのではないかという採点の問題があると思います。

(山本副委員長)

私は、指定管理評価には「B」判定が多いと思いますが、「S」「A」「B」「C」「D」は何点でしょうか。

(青田部長)

当初、評価表を作成するときは、数値目標を事前に提出する訳ですが、「A」「B」「C」「D」だけでもよいのですが、事業計画どおりできれば、基準を「B」と考えました。「A」「B」「C」だけでもよいのですが、初年度の計画では、全く計画としては満たないケースであるとか、計画以上に成果を挙げたケースありますので、幅を持たした形とさせていただいています。そのうえでコメントを付記する作業をとった次第です。必ずしも前年の評価を持ち越さないで、当市では評価しています。

(遠藤委員)

指定管理の評価表は辛く付記しているように見受けられます、経費についてはコストを減らしていることから評価「B」というよりも「A」でないかと思われま。平成24年度を見てみると質は向上していますが利用者が微増であることからの評価かもしれませんが、3番目は「B」となっていますが「Bプラス」ではないかと思いますが、大きな流れとしては「B」であっても「A」に近いようです。ユーザーからの評価も何らかを参考にして、もう少し情報を得てすればとよいと思います。

(津村部長)

和風園に関しては、施設の特徴がありまして、高齢者が基本ですが、養護老人ホームは基本的に利用者を増やせばよいというものではなく、措置をするという観点で、個人として尊厳をもって暮らしていけることが基本的な目標となりますので、それを達成したときに満足度を見たときに「S」や「A」などに何をもって評価するのか、尺度が難しいという問題があります。本来持つ施設の目的を、どのような目標であり計画といった形を創り、達成したという評価基準からするとすべてができていても「B」となる。ですから、80点なのか、という問いに対して目標や計画が達成できていれば、1方では100点満点であったりもすると思います。我々が何を求めるかという指標が施設の性質として他の施設と違うと見るのと福祉施設として同様に見るのでは違うものになると思います。つまり、立ち位置が違うように思います。ですから「B」を何点で見るとかというよりも施設のあり方が問われる部分ではないかと思えます。

(朝沼委員長)

得点で表記することが極めて難しいことであるということです。「B」というのは、当初、立案した計画で、一様達成されているというレベルということで、どう評価すべきか、目標を達成すれば100点という見方もありますし、それは単に目標を達成しただけで良いということで、もう少し努力してほしいと思えば評価が変わってきま

す。

(山本副委員長)

目標を付されて評価される側は、どのように感じているのでしょうか。

(津村部長)

目標を設定する市が施設に求めるもの、その水準をどう考えるかによると思います。ある程度改善が図られたとしても、次の目標で更に改善を図るとなるとより厳しくなるということです。他の施設と同じ尺度で見た場合、非常に評価が難しい、担当課長が、これを仮に「A」と評価したときに当初の目標がどうであって何がどのように向上したかを説明しなさいとなった場合、非常に説明がしづらいということになります。厳しいというよりも当初の目標を達成したとしても「B」判定と評価せざるを得ないことになります。担当課として60点と評価した訳でもなく概ね80点というイメージを持たざるを得ないことになります。

(朝沼委員長)

収益を上げたとか経費を削減したなどといった事由は、この施設の特性には結びつかないということで評価が難しいですね。

(津村部長)

一応、自立のかたが生活している施設ではありますが、職員が介助などの世話をしている訳ですが、サービスを手厚くすると当然、人件費が上昇します、コスト面ではマイナス評価となる訳です。取組みをしたことにより一方では評価され、もう一方では評価を下げることになります、その基準をどう考えるのか、福祉に携わる人間としてはジレンマとなります。

(朝沼委員長)

たぶん、結論がでないではないかと思います。委員のみなさんには各々の立場がある訳で一律の判断基準は難しいと思いますが、委員としての役目として指定管理者を選定するという結論を出さなければなりません。これは、使命としてある訳です。ですから、ある程度の基準をもって決めておいて、各人の価値基準で考えてもらう、委員が5人いるということは1人で選定する訳ではありませんので、それぞれ意見があるなかで採点していく訳ですから、そのことを御理解してもらうしかないと考えています。市の方で入所者に対してアンケートなどを取ったり、個別での聞き取りをしたりはしていますか。

(事務局 安達課長)

市が直接は行ってはいませんが、運営法人においてアンケート調査を実施しています。また、施設内に意見箱を設置したりしていますが、施設に対してマイナス的な意見は無いように聞いています。それと毎月、運営法人と和風園内で定例会を開催しており、その際に入所者に声かけはしていますが、特に不満はないようです。

(遠藤委員)

委員の我々が指針をみて、外部評価をしなければならないのですが、担当者の意見を用いて何をもって評価するのか、それは、組織が正しく管理しているか、しっかりパフォーマンスしているか、利用者の増減に対して増やすべきだと評価してよいものなのか、措置として民間の老人ホームとは違うということであれば、市が本来マネジメントすべきことで、受託者がすることではないかと思います。入居者の人数の増減は、評価項目ではないと思います。

(朝沼委員長)

入所者を呼び込める施設ではなく、措置として受け入れる公共の施設であると理解

しています。

(遠藤委員)

自主事業の参加数での評価は可能ですが、施設の修繕が多ければコスト面では評価が下がります。しかし、施設が古ければ、当然、運営者の問題ではないと思います。よく施設の修繕が多いので受託者の法人が困っていると聞いたことがあります。これは受託法人がマネジメントすべきことではないと思います。受託法人がマネジメントすべきことか、そうではないことか、見極めて評価すべきだと思います。

(青田部長)

基本は、提出している事業計画についてパフォーマンスができているのか、目標に向けて計画どおりできているのかということ、達成度をみる評価となります。提出している計画書が出発点となり、評価となりますので、この点を御理解していただきたいと思います。

(朝沼委員長)

評価項目の内容、項目について、問題ないですか。

(山本副委員長)

評価においては、施設の特徴がベースになっていると思います。

(朝沼委員長)

では、内容等は、これで良いですか。

(朝沼委員長)

次に選定する基準をどうするか考えていきましょう。ある程度決めておいた方がよいと思います。採点ですが前回80点ですが、今回は75点あれば委員会として推薦しようかと思っています。課題ができれば、その都度、議論しようと考えています。1社ではありますが、面接を実施するかどうか、ご意見をいただきたいと思っています。

(山本副委員長)

面接もせずに推薦をするのは、何かと問題になるのではないかと思いますので、すべきだと思います。

(高原委員)

面接において、問題点を捉えて質問をすれば良いかと思っています。

(朝沼委員長)

委員会として推薦をするからには、やるべきことはやる。面接をすれば、法人の現状についても聞けると思いますので面接を行いたいと思います。それでは、本日の議事を終えたいと思います。

閉 会